先端科学技術研究科　修士論文要旨

所属研究室 （主指導教員）	ソーシャル・コンピューティング （荒牧　英治　（教授））		
学籍番号	2111406	提出日	令和 5年 7月 24日
学生氏名	清基　英則		
論文題目	言語的特徴を用いたツイートの指向性推定タスクの提案とデータセット構築		

要旨

新型コロナウイルスの拡大に伴い，政府や自治体などはソーシャルメディアを用いた正確かつ迅速な情報発信を行うことが求められている.
正確かつ迅速な情報発信のためには，特定の対象（年代や性別など）に向けて発信された情報を，その対象が自分に向けて発信されていると理解できるかどうか，すなわち「指向性」が重要である．情報発信者の属性を特定する研究は多いが，情報が対象とする受信者の属性を特定する研究は見受けられない.
本研究では，Twitterにおける雑誌の公式アカウントが発信するツイートは読者層向けに最適化されていると考え，雑誌の公式アカウントによるツイートを収集し，各雑誌の対象年齢と性別をラベル付けした雑誌ツイートデータセットを構築した.
更にクラウドソーシングを通して，社会的属性が異なる参加者達によるアノテーションを実施し，指向性ツイートデータセットを構築した.
これらのデータセットを用いて，対象ツイートがどの年代，どの性別に向けられているものなのか機械学習モデルで分類した.
実験結果から，テキストから対象となる受信層の推定が可能であることが確認できた.
また対象層に向けて文体や内容をデザインすることで、情報を効果的に発信できることについて示した.